

# Daily Report (号外)

## ～FOMCの結果について～

### 概要

FRB(米連邦準備制度理事会)は、6月16-17日に開いたFOMC(連邦公開市場委員会)において、フェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を前回の4月に続き3.50-3.75%で据え置くことを全会一致で決定しました。

FOMC後に発表された声明文では、雇用の最大化と物価安定を目標とすることに加え、量的政策について「委員会は十分な準備預金を維持することを再確認した」と記述されました。景気は堅調、雇用も安定しているとの評価を維持する一方、インフレは「依然高止まり」との認識を再確認し、供給要因による価格上昇圧力についても記述されました。また、物価安定の実現が明記された一方、雇用最大化について追加の記載はされず、物価安定をより重視していることが示唆されました。なお、今回の声明文は簡素化され、先行きの展望についての記述は削除されました。

今回発表された経済見通し(SEP)では、2026年の成長率見通しが小幅に下方修正された一方、失業率見通しは小幅に低下しました。インフレ率に関しては、中東情勢の悪化によるエネルギー価格上昇の影響を受け、2026年について前回見通しから大きく上方修正されました。

ドットチャート(政策金利見通し)の中央値は、年内は利上げ、来年以降は利下げの見通しとなりました。なお、ウォーシュ新議長は自身のドットを提出していないことを明言しています。

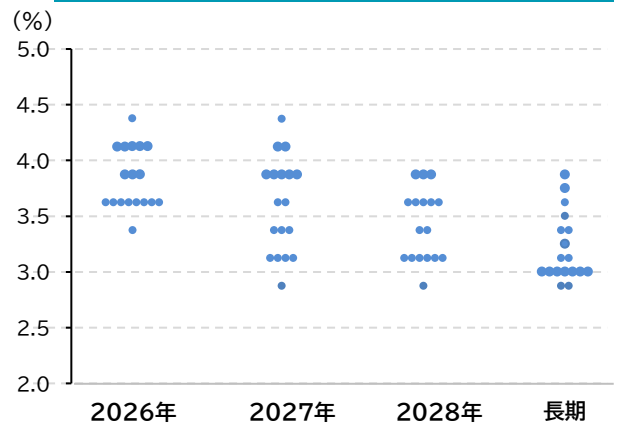
ウォーシュ新議長はFOMC後の記者会見で、雇用最大化については冒頭に1度触れたのみでしたが、物価安定へのコミットメントについては繰り返し強調しました。フォワードガイダンスを示さない方針を明確にしたことと合わせて、①コミュニケーション手段、②バランスシート政策、③新規データソース利用、④AI(人工知能)変革期における生産性と雇用、⑤インフレの枠組みに関するタスクフォースの立ち上げを表明しました。タスクフォースの立ち上げにより、金融政策判断への時間的猶予を確保したともいえます。検討課題とされてきたバランスシート縮減については、明確な方針は示しませんでした。

図表1 FOMC参加者の経済見通し  
(中央値ベース)

	2026年	2027年	2028年	長期見通し
GDP成長率	2.2%	2.3%	2.2%	2.0%
(前回3月)	2.4%	2.3%	2.1%	2.0%
失業率	4.3%	4.3%	4.2%	4.2%
(前回3月)	4.4%	4.3%	4.2%	4.2%
PCEデフレーター	3.6%	2.3%	2.0%	2.0%
(前回3月)	2.7%	2.2%	2.0%	2.0%
コアPCEデフレーター	3.3%	2.5%	2.1%	-
(前回3月)	2.7%	2.2%	2.0%	-
FFレート(中央値)	3.8%	3.6%	3.4%	3.1%
(前回3月)	3.4%	3.1%	3.1%	3.1%

出所:FRB

図表2 FOMC参加者のFF金利予測  
(ドットチャート)



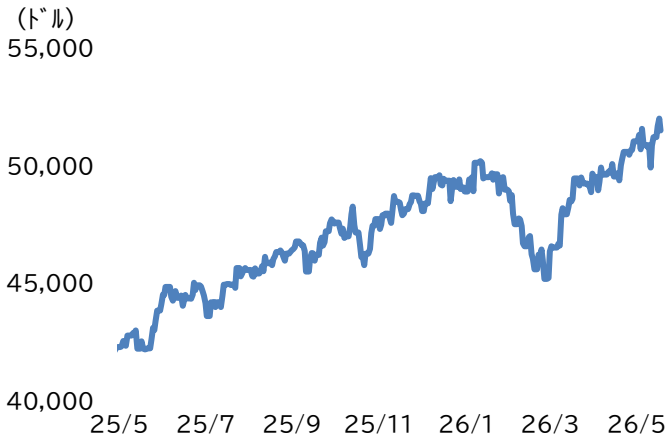
出所:FRBより弊社作成

# Daily Report(号外)

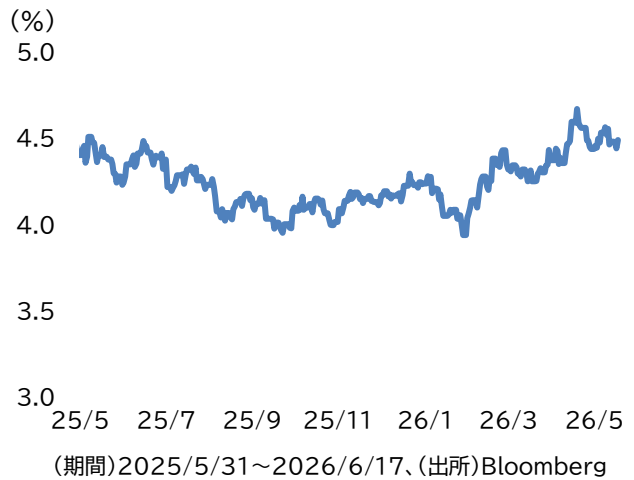
## 市場の反応(米国市場)

米国株式市場では、FOMCでの年内利上げ示唆やトランプ米大統領の「(利上げは)起こり得る」との発言を受けて下落し、NYダウは前日比▲507.12ドル安の51,492.55ドルで終わりました。米国10年国債利回りは、ドットチャートでの年内利上げ示唆や、ウォーシュ新議長の物価安定を最重視する姿勢を受けて前日比+0.05%の4.49%まで上昇して終わりました。為替市場では、一時1ドル=160円70銭台まで円安ドル高が進み、年初来の円安水準を更新しました。

### NYダウの推移



### 米10年国債利回りの推移



## 評価及び今後の見通し

今回のFOMCは政策金利の据え置き自体は概ね予想通りでしたが、今後の運営見通しについては不確実性が増す形となりました。

物価安定目標の強調から利下げのハードルは上がりました。公表されたドットチャートでは、2026年末の中央値が現状よりも高い一方、参加者の見通しは利上げ、政策据え置き、利下げに分かれており、見解にばらつきがあります。タスクフォースの立ち上げにより、ウォーシュ新議長は時間的猶予を得た一方、市場にとっては、今後の政策運営を見極める上で、経済指標をより重視する必要性が増していると考えます。

SEPでは、エネルギー価格上昇の影響が強まっていることが示されました。利下げのハードルは高く、引続き中東情勢に関する報道やAI投資の動向が市場に影響を与える展開を予想します。

## (ご参考)今後の主要イベント

日程	イベント
2026/7/22~23	ECB理事会
2026/7/28~29	FOMC
2026/7/30~31	日銀金融政策決定会合

出所: Bloomberg